

地域計画

策定年月日	令和7年2月28日
更新年月日	()
目標年度	令和14年
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	水口町伴中山 (伴中山)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	45.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	45.4 ha
② 田の面積(細目書)(農地台帳)	45.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)(農地台帳)	0.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	10.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	15.7 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区耕作者(23名)へのアンケートを実施、後継者はいるが4名(19名はいないまたは未定)、また経営面積も現状維持が8名で縮小、離農が15名との結果が出ている。当地区の現在の耕作面積26.6haにおいては10年後には15.7haにまで減少するとの見込みである。今後、縮小、離農、担い手不足が懸念される。認定農業者、集落営農組合への集積を見込むが高齢化が進み経営面積も限界に達している。新たに法人化も検討、担い手の確保や地域ぐるみでの対策等、現状の経営面積を維持していくかが課題である。今回の地域計画の取り組みを契機として集落で今後の在り方を検討していく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

粘土質の圃場が多く、水稻が主要作物である。露地野菜は栽培に不向きであるが当地区に見合った栽培方法を検討、確立して生産性向上を図る。(しゃく、夕顔)また、景観上見える圃場については維持継続を図り、担い手が作りやすい環境を整え、地域での草刈の体制を確立する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手や営農組合が農業を行いやすいように集積、集約化を基本に小規模農家の協力を得て農地の有効活用を進め、農業者が一体となり地域の農地を守る仕組みを構築していく。(今回の計画では当面数年先を設定して話し合いを始めたため現状維持の計画となっている)			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	45.5 %	将来の目標とする集積率	45.5 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
認定農業者、集落営農組合の農地をもとに、小規模農家、地主の協力を得て法人化(今後検討)により農地すべての集約化を検討する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約を進め、農地利用最適化推進委員と調整しながら団地面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現耕作者の意向を踏まえ、段階的に集約化を進める。また農地中間管理機構への貸付も同時に検討する。
(3)基盤整備事業への取組
地域内において、基盤整備事業が可能な圃場の拾い上げを行い、計画、検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
現状、高齢化が進んでおり、地域内外から多様な経営体を募ることは喫緊の課題である。耕作者の意向も踏まえ、市及びJAと連携して担い手を育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域での協力体制の確立を目指す。一方作業の効率化(草刈作業、鳥獣防止対策等)が期待できる作業については、農作業委託について検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="radio"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="radio"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="radio"/> ③スマート農業	<input type="radio"/> ④輸出	<input type="radio"/> ⑤果樹等
<input type="radio"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="radio"/> ⑦保全・管理等	<input type="radio"/> ⑧農業用施設	<input type="radio"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシの被害は近年毎年発生し減少することがない。被害防止策を設置して対応しているが、設置後数年が経過し、管理不行き届きもある。地域細分化により、連絡網の確立、捕獲人材の確保に対応できる体制を構築する。
- ⑦景観上、耕作放棄地を増やさないよう地域での協力体制を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和14年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
集		水稻	4.0 ha	ha	水稻	4.0 ha	ha		
認農		水稻	10.4 ha	ha	水稻	10.4 ha	ha		
認農		水稻	3.3 ha	ha	水稻	3.3 ha	ha		
認農		水稻	2.3 ha	ha	水稻	2.3 ha	ha		
利用者		水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha		
利用者		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha		
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha		
利用者		水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha		
利用者		水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha		
利用者		水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha		
利用者		水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha		
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha		
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha		
利用者		水稻	1.4 ha	ha	水稻	1.4 ha	ha		
利用者		水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha		
利用者		水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha		
計	16経営体		26.6 ha	0 ha		26.6 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)